

トークセッション Vol,2 “おせっかい上等”

僧職系男子と肉食系アートセラピストが現代社会を元気にする！

2011年6月15日(水) 20時開談 圓融寺 <http://www.enyuu-ji.com/>



&



僧侶：プロフィール

阿 純章 (おか じゅんしょう・〈俗名〉すみあき)

1969年 東京生まれ

小学校から高校までキリスト教系の学校に通い、キリスト教に関心を持つ。

その後、早稲田大学第一文学部に入学し、東洋哲学専修で中国思想を学ぶ。同時に映画監督の道を模索するもすぐに挫折。学問の道に専念し、同大学院で中国仏教の研究に従事。

博士課程の間に中国に留学。北京大学に入学し、高級進修生として大学院で仏教および中国思想を学ぶ。また、中国の仏教遺跡巡りに魅せられる。

帰国後、博士課程を卒業し、圓融寺の副住職をつとめる他に、早稲田大学、専修大学等で非常勤講師をしながら、中国仏教の思想と歴史を研究し、学会や論文で研究発表を続けている。

数年前までは研究者としての道をひたすら真っ直ぐに進んでいたが、その一方で仏教の生き方が現代人(私自身を含め)の心に求められていると強く感じ、今まさに待たない状況の中で、「知識の仏教」だけでなく「体験する仏教」を広めていきたいという思いから、坐禅を中心に寺院で様々な活動を行っている。

人生は一本道ではなく、様々なバイパスの建設を楽しんでいる真っ最中。

アートセラピスト：プロフィール

志美津 民綱 (しみづ たみつな)

1974年 東京生まれ

14歳で単身、英国留学。

16歳から、昼間は全日制の高校に通い、夜デザインの専門学校に通う。(以降、昼と夜の顔を使い分けて生活?!)

この頃から、海外を巡業し始める。芸術の島バリ島では自転車で巡業しながら木彫修行。

古代遺跡の国エジプトではピラミッドの頂上から眺める夜景に感動し、ヒエログラフと天文学の研究。

世界中の人々と出会えたニューヨークのアートカレッジでアートセラピーを学ぶ。

帰国後、展覧会/個展など精力的に活動。美術学校の講師を勤め、画壇の扉を開けるも、狭すぎる環境にエスケープ。

2011年現在、3児の父。

“感動はひとを美しくする”をテーマに想像力を通じて、その人本来の姿に導くお手伝いや、心身のバランスを整え、精神を自由にするパーソナルサポートをしています。

*注 サポートの基本は、それを受けたいという、クライアント側の強い意志が前提となります。宗教/医療行為ではありません。

今回のテーマ：「震災と心災」 今を生きる!! 私たちにできること!

3.11以降、私たちの生活は日常から非日常へと一変しました。被災地ではいまだに復興の兆しが見えず、被災を免れた地域でも、次々と予測のつかない影響が及んでいます。表向きには普段の生活をしていても、非日常の中で平静さをとりつくりながら日常生活をおくっている状況かもしれません。

日本全体に大きな喪失感と無力感が漂う中、復興はどうすべきか、政治はどうあるべきかを問うのも大切ですが、まず私たちの足元をみつめ、「震災」に加えて、知らぬ間に忍びよる目に見えない「心災」をどう乗り越えていくか、お坊さんとアートセラピストと共に話し、共に考えてみませんか(ビール片手に!) どなたでも大歓迎です!

日時：2011年6月15日(水曜日) 20時開談 参加者の皆さんを含めてビール片手にフリートーク。

自由解散(終了時間は22時30分です)

会場：圓融寺 旧庫裏(釈迦堂向かって右側の建物です) <http://www.enyuu-ji.com/>

費用：浄財(カンパ) ※ビール(1缶)とおつまみ代は別途料金(500円)がかかります。